

平成 28 年 8 月 4 日開催 本山町景観審議会 議事概要

1. 開催日時

平成 28 年 8 月 4 日（木） 午後 2 時から午後 3 時 38 分

2. 開催場所

本山町プラチナセンター

3. 出席委員数

委員：11 名（12 名中） 事務局：4 名 委託業者：(株)第一コンサルタンツ 4 名

4. 会議に付した事項

- (1) 会長および副会長の選任について
- (2) 土佐本山橋の色の選定について
- (3) 本山町景観計画の変更について

5. 会議の概要

(1) 会長および副会長の選任について

【意見】事務局案があれば事務局案で

→ 事務局案により、会長に佐藤八尋氏、副会長に大石哲雄氏を選任

(2) 土佐本山橋の色の選定について

【事務局説明】

景観計画 34 ページ第 7 章「1：景観重要公共施設に関する基本事項」で『景観重要公共施設の整備は、景観計画に即して行わなければならない』とされ、「2：公共施設による景観形成を図る区域と対象物」でも『景観形成に大きく影響する施設として「吉野川流域区域」にあって、吉野川を横断する橋梁を、景観重要公共施設の指定候補とする。』とされている。また、35 ページ「4：重要公共施設の指定」でも指定候補に位置づけられており、このことにより色の選定について審議をいただくもの。

【委託業者説明】

現在の形状等については平成 25 年に答申が出されている。また、今年実施された住民アンケートの結果では、17 通の応募があり、さくら色系、オレンジ色系等の案が出された。スケジュールとしては、9 月中旬を目処に塗装色を決定。

【質問】ガードレール等については色を統一するようにしているが、橋は関係ないのか？

→ 国や県等にも協力いただき、ガードレールや電柱等を茶色に統一しているところ。橋については景観計画に定めた内容に基づき、景観と調和のとれた色を選定する。

【質問】今回の橋についてはモニュメント的位置づけで色を選定すると思われるが、他の橋についても今後あわせていく必要があるのか？

→ この件についても今後の審議の中で決めていく予定。

【意見】アンケート結果で示された色で景観計画にそぐわない色があれば選定の参考として聞きたい。

→ アンケート結果の確認はできてないが、濃い色やはっきりしたグラデーションはひっかかる恐れがある。

【意見】 目立たせたいのであれば鮮やかな色、景観を守りたいのであれば調和のとれた山や森に近い色ということになるが、町民はどのような効果を橋に持たせたいのか。町民の思いを聞かせていただきたい。

【質問】 近くにできる老人ホームの屋根がオレンジ色だが、許される色の基準は？
→ 計画上では『マンセル値 10 未満』としている。
オレンジ色でも鮮やかさにより規定に反するかどうかの違いがでてくる。

【質問】 マンセル値とは、色相・明度・彩度の 3 つの属性を組み合わせで表記されるもの。計画上の記載では不備があるのではないか。
→ 景観計画 29 ページの行為の制限の欄外で『「彩度」を示す』と記載されているので問題はないと思われるが、記載の変更については今回の審議内容ではないため今後検討する。

【委託業者説明】

アンケート結果に基づいたイメージ画像 10 点を説明

【質問】 塗り替えまでの年数や維持管理経費の負担はどうなるのか？
→ 塗装の耐用年数は、文献では 60 年となっている。
経費については、現在「公共施設等総合管理計画」を策定中であり、維持管理経費についても基金を充当するなどの計画を立てる予定。

【質問】 橋の両側道路は国道と県道で橋だけが町道となっているが、今後高知県に維持管理を移す等の要望はしているのか？
→ 要望は引き続き行っていく。

【質問】 模様を入れると時の経過により汚れが目立ち、飽きもくるのではないかと？また、時の経過により汚くなると思うし、素人考えだが経費が高つくのではないかと？
→ グラデーションについては単色と変わらないが、模様は割高になる。

【司会（会長）】

単色で選定するというのでよいか？

【意見】 ○単色がよいのではないかと。塗装色を決める場合、通行者の安全性と快適性に配慮する必要ある。土佐本山橋は南東から北西に架かる橋だが、朝日や夕日があたるかどうか。明度に関しては、ドライバーや高齢者への配慮も必要。
○朝日や夕日の反射による影響は十分に考えられる。近辺の住宅にも影響があるのではないかと。

【司会（会長）】

では、明度も検討していくことにするが、シンボリックなものにするのか景観に配慮したものにするのか、という観点ではどうか？

【意見】 ○アンケートを行った以上は結果を無視できない。本山に来るまでは、薄い緑が景観にマッチして良いのではないかと考えていたが、アンケート結果で「さくら色系」を選んだ方が 7 名と多数。景観計画パンフレットの計画目的で「町民の幸せ感」が挙げられているが、ピンク系は幸せ感を連想する。ピンクであれば、イメージ画像の「薄いさくら色」もしくは「シャクナゲ色」の下部分、このくらいの明度・彩度が良いのではないかと。現場での検証も必要。
○当初は長持ちするこげ茶色が良いと思ったが、さくら色が良いと思う。
○ランドマークとするのであれば、少しは目立つ色が良いのではないかと。さくら色で

- あれば、本山町は花の町で名が通っているし、町民からも文句がでないと思う。
- 東大橋が昔はオレンジ色だったが、数年前に現在の薄い緑色になり目立たない。目立つ色がいいと思うがオレンジは明るすぎる。
 - ピンクは本山の色だと思うが、個人的には山や川にマッチした淡い緑色が落ち着く。
 - 珍しい色がいいのでは。水色や薄いグリーンはよく見る。
 - 淡い色はライトアップやイルミネーションをした時に映えると思うし、ライトの色によって橋のイメージが変えられる。
 - 退色を見据えて色を決定してはどうか？汚れの目立ちにくい色を決定する等の方法もある。

【司会（会長）】

意見をまとめると、シンボリックな橋ならばさくら色、調和を考えれば水色や緑色という意見。一言で緑色と言っても様々な色合いがある。次回審議会では、何パターンかの色見本を作っていたら、反射・劣化・安全性も含めた検討をしたい。

- 【意見】
- 高知市の鏡川大橋の塗装色選定にも関わったことがある。元の色は青空と調和したブルーだったが、経年劣化によりさびの色が目立つことと寂しく感じる色のため、塗り替えの際には高知城の漆喰の色で暖かみを感じるアイボリーとなった。人口減少傾向のある町で寂しさを感じないのはピンク系ではないか。
 - 次回審議会でのサンプルカラーとして、緑の中でも棚田や若い稲をイメージする黄みがかかった「黄緑」も加えていただきたい。緑とさくら色を明度・彩度を変えて6パターンずつくらい準備していただきたい。

- 【質問】 町の花が「桜」ということだが、特定の樹種はあるのか？
- 当初、寄贈を受けた樹種は「ソメイヨシノ」と聞いている。

【司会（会長）】

決定方法はどうか？

【事務局説明】

アンケートは「決定時の参考にする」として募集した。アンケート重視でなくても問題はない。

【司会（会長）】

アンケートに基づいた意見も集約できたと思うので、色彩の決定は審議会で行っていいと思うがよろしいか？

→ 特に意義なし。審議会で色彩決定を行うことに決定。

(3)本山町景観計画の変更について

【事務局説明】

- ①第5章「行為の規制に関する事項」「2. 景観区域内における行為の制限」中の文言“和風感のある素材を使用し”の文言を削除するもの。
- 建築の実態にあっていないこと、何をもって和風感とするかわかりにくいことが理由。削除しても規制内容には問題がないと判断した。
 - 景観計画に関する届出処理は建設課で行っているが、「和風感」があいまいなことや、現状は耐火壁やトタン等が主流となっている。コスト面での問題もあり、素材まで指定するのは実態にそぐわないと思われる。
- 特に意義なし。審議会で色彩決定を行うことに決定。

②第7章「景観重要公共施設の整備に関する事項」「4. 重要公共施設の指定」中の文言の削除

- 計画策定時“(案)”としていたものについて“(案)”を削除するもの。
- 第7章の「2. 公共施設による景観形成を図る区域と対象物」の中で『現時点では、景観形成に大きく影響する施設として、吉野川流域区域にあって、吉野川を横断する橋梁を、景観重要公共施設の指定候補とする』と記載されていることや、「井」を用水路という公共施設と指定するとし、「本山上井・下井」「下関井」は歴史的遺産としている。このことから、“(案)”を削除することに特段の問題はないと考える。
 - 特に意義はなく可決。